

ごみ減量化モデル事業最終アンケート調査結果

町では、令和4年3月1日から2地区（30世帯）の方にごみ減量化モデル地区としてご協力をいただいています。

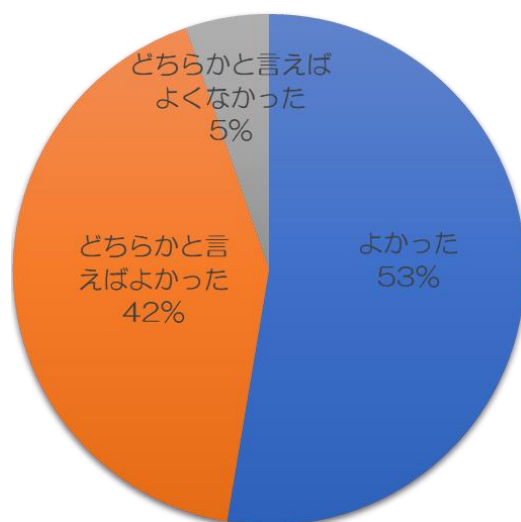
今後、町全体への取り組みへつなげていくために、協力者の方々に以下の内容でアンケート調査を行ない、結果を取りまとめましたので報告いたします。

- 1 目的：ごみ減量化に意識的に取り組んでいる世帯の意識や意見を参考にして、今後の事業の展開に役立てて、町全体への取り組みにつなげる。
- 2 対象：ごみ減量化モデル事業の協力世帯（30世帯）
【 田黒地区 15世帯 関堀地区 15世帯 】
- 3 期間：令和5年4月21日～令和5年5月2日
- 4 方法：協力世帯にアンケート用紙を配布。無記名で回収。

5 アンケート内容と結果

問1 ごみ減量化モデル事業に参加してどうでしたか？率直なご意見をお聞かせください。

<input type="checkbox"/> よかった	10名	
<input type="checkbox"/> どちらかと言えばよかった	8名	
<input type="checkbox"/> どちらかと言えばよくなかった	1名	
<input type="checkbox"/> よくなかった	0名	無回答 11名

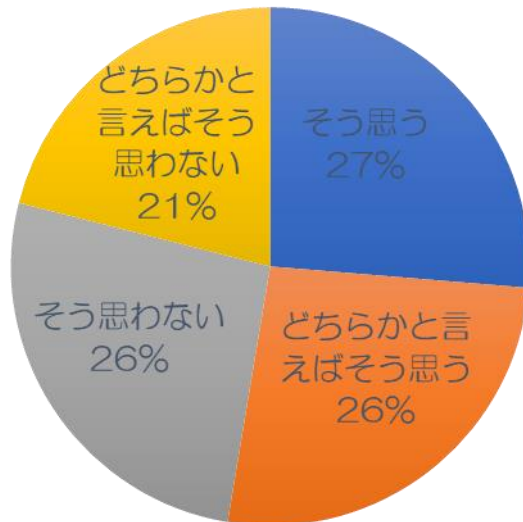


[問1に関するご意見]

- 改めてごみの分別を見直せた。
- 今まで、あまり興味を持っていなかった減量化に対して意識向上に繋がった。
- ごみ減量に家族が協力し、ごみ減量の意識高揚に繋がった。
- 当初は面倒だと思っていたが、慣れれば大丈夫だった。
- 分別の意識が高まった。
- 我が家の生ごみや雑がみの量が分かった。

問2 生ごみや雑がみを分別することで、可燃ごみの収集を現在の週2回から週1回に減らすことは可能だと思いますか？

- | | | |
|---|----|---------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | 5名 | |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えばそう思う | 5名 | |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えばそう思わない | 4名 | |
| <input type="checkbox"/> そう思わない | 5名 | 無回答 11名 |

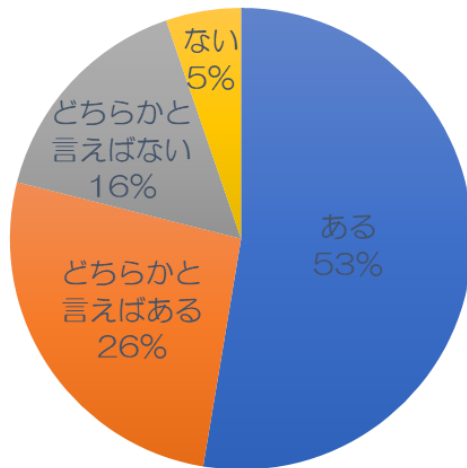


[問2に関するご意見]

- 1回で出すごみの量がかなり少なくなったため。
- 生ごみの保管の問題があると感じる。
- 生ごみ現状通り生ごみの臭いが気になるのでお願いしたい。
- 紙おむつやペットのふんのことを考えると、週1回は厳しい。
- 夏場は、特に生ごみの臭いが気になるので、週2回が良いと思う。

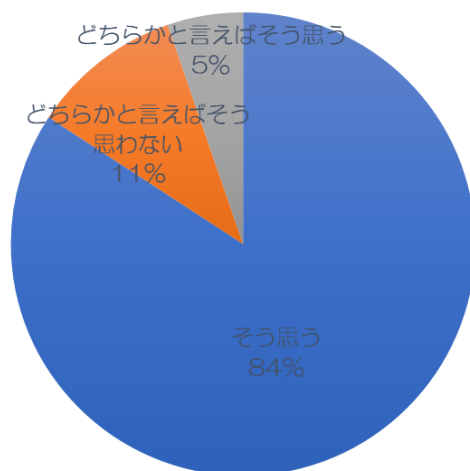
問3 ごみ減量化モデル事業に参加する前と比べて、ごみの量が減った実感はありますか？

- | | | | |
|--------------------------|------------|-----|---------|
| <input type="checkbox"/> | ある | 10名 | |
| <input type="checkbox"/> | どちらかと言えばある | 5名 | |
| <input type="checkbox"/> | どちらかと言えばない | 3名 | |
| <input type="checkbox"/> | ない | 1名 | 無回答 11名 |



問4 ごみの減量化は、より多くの方が習慣化して継続して行うことで効果が表れます。今後も継続して行っていきたいと思いますか？

- | | | | |
|--------------------------|----------------|----|---------|
| <input type="checkbox"/> | そう思う | 5名 | |
| <input type="checkbox"/> | どちらかと言えばそう思う | 5名 | |
| <input type="checkbox"/> | どちらかと言えばそう思わない | 4名 | |
| <input type="checkbox"/> | そう思わない | 5名 | 無回答 11名 |



問5 可燃ごみを減らすために、効果的だった取組みや工夫等をお聞かせください。

【 問5に関するご意見 】

- 生ごみが出ないように残った食べ物を早めに食べたり、食材を買いすぎないようにした。
- 生ごみの水切りと雑がみ保管袋の活用が効果的だった。
- 雑がみ保管袋で分別することで、可燃ごみが約2割削減できた。
- 生ごみの水切りは以前よりも気を付けるようになった。
- 家族全員で意識を高めること。
- 植木の葉や草は畑で堆肥にしている。
- コンポスト容器の活用を習慣化する。
- 買い物時から気を付ける。
- 頂いた野菜は、無駄にしない。捨てる時にはよく水分を切る。
- 分別を正しく理解する習慣にすること。

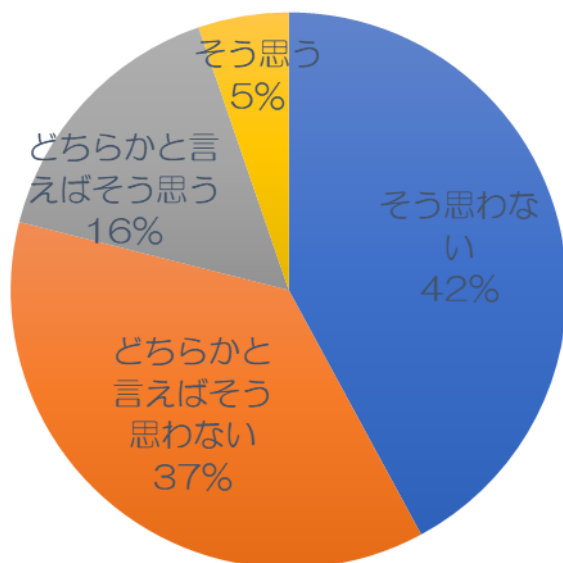
問6 町では令和5年度もごみ減量化モデル事業を継続します。モデル事業について、新たな取組みのご意見や改善すべき点などありましたら今後の参考のためにお聞かせください。

【 問6に関するご意見 】

- 一般家庭ではコンポスト設置が難しいため、他の方法の改善を提案したい。
- モニターになった方のごみや資源は、モデル地区だけの処理ルートにすれば、工夫内容もわかりやすい。
- 減量化モデル事業に協力してくれる世帯をもっと多くする。例えば、関堀地区だったら全世帯にするとか、字の世帯数が多かったら半世帯にするとかがいいのでは。
- 生ごみ処理容器の有効活用及び各世帯に普及出来るよう、購入補助を厚くしてほしい。
- 雑がみの区分の細かいところが分からない。迷う。

問7 広報4月号でお知らせした生ごみ処理器キエーロ（令和5年度ごみ・資源分別カレンダー22 ページ参照）について、購入したいと思いますか？

- | | | |
|---|----|---------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | 1名 | |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えばそう思う | 3名 | |
| <input type="checkbox"/> どちらかと言えばそう思わない | 7名 | |
| <input type="checkbox"/> そう思わない | 8名 | 無回答 11名 |

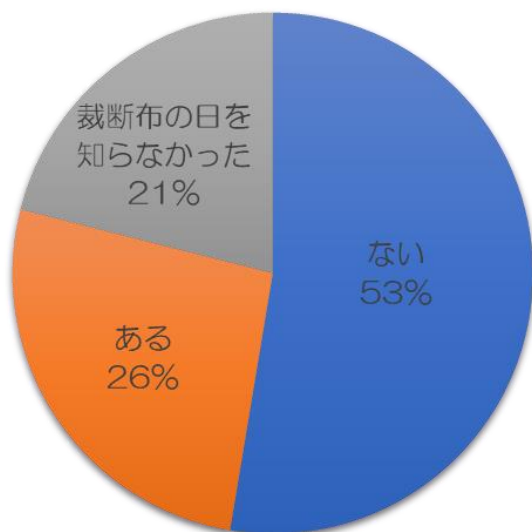


【 問7に関するご意見 】

- 生ごみだけ別に分けて外の捨てに毎回行くのが大変そうだから。
- 自己所有地(畑)内に埋めるため。
- キエーロがどのくらい効果があるかよくわからない。
- 臭いの発生の有無が分からない。
- 設置場所の確保が難しい
- 生ごみの分別は、意外に大変そうなので。
- 良好な状態での維持管理がむずかしい。

問8 令和4年度から可燃ごみの処理方法変更に伴い、裁断布の日を追加しました。裁断布の日にごみを出したことはありますか？

- | | | |
|---------------------------------------|-----|---------|
| <input type="checkbox"/> ある | 5名 | |
| <input type="checkbox"/> ない | 10名 | |
| <input type="checkbox"/> 裁断布の日を知らなかった | 4名 | 無回答 11名 |



問9 普段のごみ出しで、何かお困りのことはありますか？今後の参考のためにお聞かせください。

【 問9に関するご意見 】

- ルールを守らずごみを出す人がいるので対処方法が必要と思う。町で啓発看板を配布して欲しい。
- 雑巾や下着・靴下は、いつのごみの日にだせるのか？老後になって分別が出来るのか心配になる？
- 1年間モデル世帯としてごみ出しを実施し、とても良い経験になった。今後も、分別の重要性を念頭に置き実施していく。
- 家計簿（日記帳）等の守秘性のあるものの捨て方。
- 雑がみの分別に迷う。